

事例：知的財産を活用したビジネス強化のサポート

■ 金融機関における成果のサマリ

☞ J-PlatPatを金融機関目線で活用できるようになり、取引先の事業理解やソリューション提案の内容に深みを持たせられるようになった。

■ 金融機関の概要、取り組みのきっかけ



- ・ 店舗数（国内52店舗、シンガポールに駐在員事務所1か所）
- ・ 資金量（9,189億円）
- ・ 2017年より知財金融に取り組む

取組のきっかけ

かねてより取引先の「知的財産」に着目した取組を行うことに関心があり、知財ビジネス評価書の活用を経験することでその意義を確認。さらに取組を進展させ、取引先の成長を通じた地域貢献を目指す。

■ 金融機関が具体的に実施した、実態把握や本業提案等

金融機関内部での実施事項

複数支店の職員に対して、金融機関目線でのJ-PlatPat活用方法に関する研修を実施。
研修で身につけたスキルを活かして、同社の知財情報を自力で調べ、その内容をもとにしたヒアリングを実施。
現在展開中の事業が、同社の特許に支えられていることを確認できたほか、特許だけでなく意匠や商標等の知的財産も関係した事業であることを把握。

企業に提案した内容

知的財産の情報をきっかけとして現状把握を試みることで、同社の事業を深く理解できたほか、今後の見込みも把握できた。
今後の展開を確実なものとするために、販路開拓やブランディングに関する支援を提案。

■ 取り組みの成果（できるようになったこと）

当組合は、かねてよりお客様の「知的財産」に着目した取組をできないかと考えており、その一環として特許事務所との連携や、経営デザインシートの活用に向けた研修実施等に取り組んできました。
伴走型支援は、その流れの中で取り組むこととしたものであり、職員がJ-PlatPatを活用することで、質の高い事業性評価を実践できるようになることを期待しておりました。
取組を通じて、金融機関ならではのJ-PlatPat活用方法を学び、自力で知財情報を活用した事業性評価を実施するスキルを身につけることができました。

■ 取引先企業における成果のサマリ

☞ 自社の特許を活用したビジネスの経緯を再整理するとともに、今後の発展に向けた具体施策の検討を行うことができた。

■ 取引先企業の概要

会社概要



名称：株式会社徳武製作所
所在地：長野県埴科郡坂城町南条5127-21
業種：精密機械部品の製造、ガス圧接機器の設計、製作等

一押し商品



当社技術を活用したエコスピード工法は、環境負荷の低減を実現した、新しい鉄筋のガス圧接工法である。

■ Before/After

当社が開発した技術について、これまで積極的に特許出願を実施してきただけでなく、圧接用カップに関する意匠権や工法名等に関する商標権も取得してきており、事業展開への知財活用に取り組んできた。
エコスピード工法については、これからさらなる展開を図るべく検討していた。

当社のこれまでの発展において、知的財産が果たした役割を再整理。
エコスピード工法に関する具体的な展開施策の検討へ着手。

■ 取引先企業のコメント

当社は事業展開に際して知的財産の活用を重視しており、これまでに多数の特許出願を実施しただけでなく、商標や意匠も含めた複合的に知的財産を活用した経営に取り組んできました。
今後もさらに知的財産を活用して経営を強化していくことを目標の一つとしており、その時に金融機関の方々から知的財産の活用に関する提案や、知的財産を活用したビジネスを成功させるための事業支援を提案してくれることは大変心強いです。

